

事務事業名		介護者慰労短期入所事業			会計	一般会計				
課等名		介護高齢課			事業種別	政策	開始	18	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
		施策	35	高齢者福祉の推進						
目的	対象(誰・何を)	・要介護者:要介護3、4、5に認定された方を在宅で介護している介護者。・重度障害児者:障害程度区分4、5、			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	要介護に認定された方と重度障害児者を在宅で介護している介護者を慰労する				要介護に認定された方で在宅で介護をうけている数。			1724	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合				在宅で介護を受けている重度障害児者			31	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	利用率 利用者実数/対象者数×100				12.7				
	定性目標									
事業概要	<p>短期入所事業実施者に事業内容を伝え、対応可能な事業所を確保する。 介護者を慰労するため一月内に7日以内の短期入所を利用した場合、年間、3回まで請求のあった介護者の方に助成する。 介護者の方は利用施設で短期入所利用時の交通手段についての証明を受け、福祉課・介護高齢課へ請求書を提出する。 高齢者3000円・障害者3500円、送迎タクシー利用は2000円加算。高齢者190人、障害者30人、回数3回、利用率を8割で計算。 高齢3000円*160人*3回*0.8=1152千円 5000円*30人*3回*0.8=360千円 障害3500円*20人*3回*0.8=168千円 5500円*10人*3回*0.8=132千円</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	実施可能な事業所を確保する。 4月初日現在の対象者に対し、4月中旬にサービスの案内の通知と1回分の請求書を発送する。請求のあった方に対して助成する。 事業者連絡会において事業所に事業目的等周知し、利用率の向上を図る。				1 高齢者対象者数 2 利用回数 3 利用者実数 4 障害者対象者数 5 利用回数 6 利用者実数			1 1,724人 2 439回 3 219人 4 31人 5 0回 6 0人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,241	1,812	1,403	0					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		1,241	1,812	1,403						
人件費計(千円)②		0		161						
正規職員所要時間				45						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		1,241	1,812	1,564	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	在宅介護者は経済的精神的に負担軽減を図るため、今後も利用率の向上、制度の周知が必要である。									
改革改善の考え方	①問題点	介護保険認定者・事業者に制度の周知が不足している。								
	②改革提案	事業者連絡会において事業所に事業目的等周知し、利用率の向上を図る。								